

秘訣は「ライバル」

ノーベル賞 ワトソン博士講演

岡崎

閉症や統合失調症の研究を紹介した。

高い成果を得る方法として、優秀なライバルと親密に付き合い、教え子を上手に束ねる重要性を強調。「先駆

DNAの二重らせん構造を発見し、ノーベル賞受賞者で知られる米国のジェームス・ワトソン博士(ハシ)が二十四日、愛知県岡崎市の自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンターで講演した。同機構の招きで来日した。

ワトソン博士は、若手研究者ら四百人を前に「六十年間の十通りの科学」と題して講演。二重らせん構造や遺伝子に関する研究で

成果を収めた秘訣、息子の精神疾患を機に取り組み始めたという自



大学院生と懇談するジェームス・ワトソン博士(右) 24日、愛知県岡崎市の自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンターで

者たれ、話すよりも書物を読め」と訴えた。講演に先立ち、同機構で基礎生物学や分子生物学を研究する大学院生十五人と懇談した。

2008年10月25日の中日新聞の朝刊(31面)